

若松第2・4包括圏域事例検討会

1. 日 時 令和3年11月25日
(木) 午後3時30分～5時
2. 会 場 城西コミセン

会津若松市第2・4包括圏域関係機関における成年後見事例検討会次第

日時：令和3年11月25日（木）

午後3時30分～

場所：城西コミュニティーセンター

1. 開会

2. あいさつ

3. 出席者 自己紹介

4. 事例検討

事例①「失語による意思疎通困難者の成年後見等今後の支援」について 第2包括

事例②「低所得の視覚障がい者への今後の支援方策」について 第4包括

ケース概要報告

ケース概要の共有

ケースの課題の明確化

ケース目標の確認

ケースの支援、対応、対応者の検討、

モニタリング方法の決定

決定事項の確認

5. その他

6. 閉会



「特定非営利活動法人あいづ安心ネット」

あいづ安心ネットは、「認知症になっても障がいがあっても安心して暮らせる会津」を目指し、弁護士、司法書士、行政書士、社会福祉士、大学教授、病院ソーシャルワーカーなどの専門職が連携・協力し、成年後見制度についての勉強会や相談会等を通して、成年後見制度の周知啓発活動を行ってきた団体です。任意団体として平成12年に発足し、令和2年4月からはNPO法人として活動しています。

会津若松市第2・第4包括圏域事例検討会アンケート結果

特定非営利活動法人あいづ安心ネット

1. 日 時 令和3年11月25日（木）午後3時30分～午後5時10分

2. 会 場 城西コミュニティーセンター 2階 集会室

3. 参加者 14名（うち本会3名）

4. 内 容 事例検討

事例①「失語による意思疎通困難者への後見等今後の支援」について

提出者 若松第2地域包括支援センター 保健師 武田 沙織 氏

事例②「低所得の視覚障がい者への今後の支援方策」について

提出者 若松第4地域包括支援センター 社会福祉士 松本 歩 氏

5. 下記アンケート結果（回答10名）

(1) 事例検討会に参加された感想

① とても満足 2名

・包括さんの抱えるケースについて話を聞くことができ、日自や後見制度の必要性を改めて実感した。

・理由記載なし 1

② 満足 6名

・高齢分野の事例検討に参加する機会が少ないので、参考になりました。

・制度に当たはまらない課題について、色々な事例があり、多職種で考えしていくことの重要性を改めて感じました。

・任意後見の活用方法について、新しく知ることが出来た。

・具体的に事例を通して学ぶことができました。

・理由記載なし 2

③ やや不満足： 2

・もっと具体的な助言があれば伺いたかったです。

・理由記載なし 1

④ 不満足： 0

(2) 今後の業務に役立つヒントはありましたか？

・成年後見制度に移行するタイミングや支援の介入時期等の考え方方が今後参考になると感じた。

・リーガルサポートへの推薦依頼の方法についてご教示いただいた意見を早速業務に取り入れます。首長申立ての機関短縮とその間の金銭管理等サポートについて常に情報を集めていきたい。

- ・支援者側では「この先」が見えているため、心配して今から成年後見を使った方がいいと感じることが多いです。ただ、こちらのペースだけで進めるわけにはいかないでしょうから、今回のようにすぐに動けるように準備しておくことが大切なのだと感じました。
- ・成年後見制度利用のタイミングについて、いろいろな考え方見方で検討していく必要性を感じました。
- ・本人申立てについて検討していく視点を持てた。
- ・自分の考えにない案が出たり、貴重な意見を聞くことができた。
- ・本人の判断力があるうちに申立てできると良いことを学んだ。大事なのは本人の気持ち見守り契約の有無の選択が出来ること。
- ・任意後見契約を結んだあと、見守り契約が無ければお金がかからないことを知れた。
- ・必要な時に、タイムリーに制度が使えない状況が改めて実感した。
- ・各関係機関と連携をとり困っている人の支援が出来るよう取り組みたいです。



(3) 制度について困っていること、相談したいこと、権利擁護支援についての意見、今後の研修テーマの希望など

- ・本人申立ての進め方を具体的にどのように誰が決めるのでしょうか？（本人が言い出すことはまずない）ケア会議でしょうか？
- ・希望ではないですが、参加させていただきありがとうございました。
- ・記載無し 8